



7

サロンde五平

サロン運営団体 五平地区ふれあいサロン運営委員会



7 笠間市

開催日及び開催頻度

月1回(第2月曜日)
13:30~16:00

開催拠点 五平公民館

代表者氏名 菱沼 征一

1回の参加人数 20名

参加費 (1人1回あたり) 100円

広報方法 チラシ(月1回)



開催地域の様子

- 昔からの農業地帯に新興住宅地が混在。世代間のギャップが見られます。
- 10年前に高齢者クラブが休止となり、地域の貴重な拠りどころが消えました。



サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 各世帯間のつながりの希薄化、独居高齢者の増加等により、地域の「お茶のみ場」の将来に亘っての必要性を痛感(笠間市や社会福祉協議会の研修を通して、それらを学びました)。



サロン運営上の協力者

- 笠間市社会福祉協議会
- 笠間市役所高齢福祉課

運営費の確保方法

- 社会福祉協議会支部が当座の費用を負担しています。
- 地元行政区との連携を図る中で、区費からの補助の動きが出ています。
- 参加者から活動費として毎回1人100円を徴収しています。

連携先・協働先

- 社会福祉協議会
- 同協議会支部
- 地元行政区(5区)
- 民生児童委員
- 高齢者クラブ
- 五平公民館長
- シルバーリハビリ体操教室
- 地元壮年団組織
- 男女地元有志



サロンのウリ

- 地元への幅広い呼び掛けにより、各界代表者からなる運営委員会が結成されるなど、「創立基盤の安定」が図れました。
- 結果報告と予告を兼ねて月1回、回覧板チラシを出しており、このきめ細かさが「地域への浸透」の高さを生んでいます。

コロナ禍でのサロン活動について

- 2回ほどお休みをしました。お休みの時は事前連絡がポイントとなりましたが日頃の参加者の協力を得て円滑に完了できました。
- また必要に応じて時間短縮のほか、手指消毒、体温測定、家族の状態確認、換気等を励行。必ず体操を取り入れて、体をほくすようにしました。

◆助成金の活用によりパワーアップした活動

◆サロン活動で使える豆知識

◆サロン活動の醍醐味

など、これからサロン活動を予定している方へのメッセージ



- 補助金で購入した輪投げ用具で、賞品付きの大会が開けるようになりました。
- 参加者所蔵の古いビデオフィルムで映写会を開いたり、運営委員お手製の地元カルタで意外に知らない「ふるさと」を再発見しました。
- 地元有志の協力のもと、ひな祭り、七夕、お正月など、季節にちなんだ小物づくりに挑戦。夢中になることの喜びは、今も変わりません。